

怒濤

1973.5.1 定価3円

号外

(1969年3月5日
第3種郵便物認可)

発行所

東京都豊島区池袋
2-11-2白石ビル

怒濤社

電話(982)3312
振替(東京)147121

編集発行人 中川 進

静岡支局 静岡市静岡
郵便局△書箱398号

電話 0542-45-8639
(社会思想研究会)

九州支局 福岡市福岡
中央△局私書箱257号

(社会思想研究会)

沖縄支局 那覇市
東△局△書箱2096号
(東江進)

メーデー・アピール

労働者共産主義委員会

搾取階級と侵略者を撃滅する戦列を 強化し、労共委に結集しよう！

第四回メーデーに際して、われわれ労働者共産主義委員会は、労働者階級が独占資本と政府による高搾取、高収奪、政治的抑圧に対決する闘いのみならず、搾取制度そのものをくつがえす戦列を強化することを訴えます。

日本の資本家階級は、労働者の高搾取・働ぐ人からの膨大な収奪の上に、こえふとり、東南アジア諸国への経済的進出と政治的権益の拡大をはかっています。そして、他の資本主義大国との経済的あつれきも一層大きなものになっています。

現在の日本の自民党が占拠する政府は、今、「国際協調」を語り、「活力ある福祉社会の実現」などという美辞麗句をならべつつも、実際は東南アジアなどへの企業進出と政治的権益の拡大をはかり衝突を拡大し、国内では、インフレの昂進などによって、労働者人民の生活を「賃金どれい」としての生命を保持できる限度にまで巧妙に切り下げているにすぎない。先述のことは、民族的利己心をあおりたて、企業防衛の思想を浸透させ、階級闘争を鎮静させ抑圧しようとするものであることは明らかです。

労資協調主義を糾弾し

労働者階級の階級利益を貫徹しよう

日本における昨今のメーデーの行事は、労資協調主義の影響をうけて、労働者の階級的団結を促進するのではなく、逆に武装解除する傾向も多数みうけられます。メーデー行進への参加は、ほとんどの場合労働組合丸ごとの形式でおこなわれていて、組合費は、労働者大衆の闘いの資金としてではなく、経営者とボス交渉し、いかに労働者の不満

これまで、労働者大衆のみならず、人民の闘いは、資本家階級の反労働者的な、反人民的な攻撃と、政府の「独占資本」優遇の政策に対して組織されていますが、われわれは、次の点をとくに訴えたいと思います。

その第一は、労資協調主義・企業防衛思想にもとづく運動をはっきり批判し、資本家と区別された労働者階級の利益に立脚した運動を最後までつらぬきとおすことです。

その第二は、ブルジョア民族主義・愛国主義と訣別し、労働者階級の国籍をこえた団結と闘いを追求し、被抑圧人民の闘いに理解を示し、実際に連帯した行動をおこすことです。

その第三は、労働者大衆の利益の貫徹をブルジョア議会にすべてゆだねる傾向、すなわち大衆運動を「国民戦線」とか「革新統一戦線」とかいう議会政権獲得の補助手段に転落せしめるのではなく、これまでのブルジョア国家の官僚機構、軍・警察機構をうちくたき、労働者人民の直接の暴力と自発性にゆだねられた団結を実際の作りだすために闘う人々を広範に作りあげることです。

をそらすか考えているダラ幹||労働貴族の生活資金とメーデーの企業宣伝的仮装行列・弁当代にふりむけられ、あとは階級闘争を否定したり、国益・国防などのブルジョア愛国主義をばらまく政党への政治献金として費されているという例も少くありません。

【裏面へつづく】

もちろん、現状は、労働者階級にとって、このような否定的な側面だけがみられるのではありませぬ。資本の搾取・収奪などによる労働条件の悪化、資本肝入りの第二組合結成と第一組合員への不当な差別、政府による公務員、公労協労働者へのスト権剝奪などに対して断乎とした反撃の闘いを組織する傾向もまた増大しています。

われわれ労働者共産主義委員会は、労働者共通の利益を、資本家・経営者の利益とはっきり区別し、労働者共通の利益の擁護のために組織される闘いを支持してきましたし、現在も支持します。

排外主義、ブルジョア愛国主義でなく

プロレタリア国際主義の立場を堅持して闘おう

メーデーが、国際的な「労働者の日」であればこそ、労働者階級が、世界的に利益を統一させ共にわかちあえる唯一の存在であることを確認する日でなければなりません。それ故、資本家階級による支配と帝国主義国による他民族への支配の現実を告発し、闘いの矛先を彼らにむけることを確認する日でなければなりません。

労働者階級が国籍の相異を越えて、手に手をとって団結し、励ましあい助けあう、実際の行動をつよめなければならぬ日です。

今年一月ベトナム・ラオスの働く仲間たちが、永年の戦闘の結果、米軍を撤退させました。カンボジアの仲間も、なお、ロン・ノルと米軍と激しく闘っています。

したがって、また、労働者大衆の団結を切りくずし、階級融和を訴える部分と闘うことは、また当然のことです。

だが、われわれは、雇主と被雇傭者の関係において生れる闘いにおいて、被搾取者の労働者の立場からする実際の利益の立場を断乎として支持しますが、ただその闘いの結果は、よりよい労働条件のもとにおける賃金どれいの状態を作りだすだけであってその枠を絶対にはげでることはできないのだということをはっきりいわなければなりません。

インドシナの仲間は、収奪者、搾取者、支配抑圧している一部反動派をうち破るために闘いその一步を築いたのであって、支配者と被支配者、収奪者と被収奪者、侵略者と被侵略人民が仲良くすることを望んでいるのではないのです。今インドシナ人民が、かちとった成果を拡大し、さらに、チベット、ロン・ノル、プーマなどの帝国主義ブルジョアと結託した支配者を打倒する運動に手をさしのべ、そして何よりもアメリカで、ヨーロッパで、アラブで、アジアで、アフリカで闘う人民への連帯の闘いを組織するだけでなく、資本家階級の支配をくづがえす戦線を作りあげることが、他の国の労働者の任務です。

社、共のブルジョア議会美化の路線を粉碎せよ

また、社会党・共産党などが、労働者の武装闘争による革命を拒否し、ブルジョア軍隊や警察、官僚機構を民主化して、労働者の解放をなしとげようなどという、とんでもない日和見主義を流布していることと闘わなければなりません。彼らはそれによって搾取制度の現実、階級の存在をなくすことができるかの如き幻想を労働者に与えるだけでなく、自ら武装することの中に敵をうち破る力を備えるために闘っている部分を警察に売りわたすことを専らの運動路線としているのです。もちろん、資本家階級の番犬どもにうちかつたためには、中途半端な自己満足的な武装闘争では不十分です。人民を信頼し、人民に依拠した革命政党に導かれ、勝利への周到な計画と活動に裏うちされなければなりません。だが、何よりも、労働者の団結を、統一戦線を、国会に議員を送りだし、議員に政治をゆだねるために利用する路線を批判

し、自らは「政治の対象」となっているのではなく「政治の主体」になるべく、闘いを組織しなければならぬのです。現在の物価高騰の原因である物資土地の大手商社、企業による買いしめも、法人企業と個人の調和的方策を立法や政策によってなくすことができるものではありません。資本家による生産手段の占有と、生産手段から解放された賃金どれい労働者の他方への集中という現実こそくづがえされねばならないのです。

すべての労働者のみなさん、農民など働く他の階層とも連帯し、資本家階級の二掃のための戦線を強固にきまそう。労働者共産主義委員会は、労働者の利益とはなれた一切の利益をもたないし、この解放に全力をあげて闘います。労共委に 結集し、共に 闘おうではありませんか。